

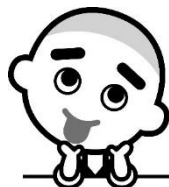
なつしら！

図書館でじょうずに
調べよう！

なつしら1：なにを知りたいか、調べたいか、よく考える

★できるだけくわしく、テーマを
考えるのがポイント！

気候変動の
ことを調べようか…



AI のことも気になる！

昆虫も好きだし

大雨や災害

マイクロプラスチック
も気になるなあ

なつしら2：最初は、^{さいしょ}辞書や^{じしょ}事典や^{じてん}図鑑を^{ずかん}みる



★国語辞典や百科事典、いろんな図鑑を使おう。

本の最初の「目次(もくじ)」、さいごの「索引(さくいん)」で、気になることばを探そう。

図書館のけんさく用パソコンでいきなり調べると、いろいろなものが出すぎて、ぎゃくに、
ぜんぜん見つからない!?!となることも。とにかくまずは、辞典や図鑑から！

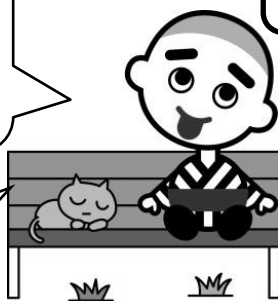
なつしら3：ひとつの場所だけでなく、あちこちさがす

★「知りたいのはこんなこと！」ときまったら、図書館の中をさがしてみよう。

図書館の本は、0～9の数字を使った、「分類記号(ぶんるいきごう)」という番号が
背(せ)についていて、同じ数字は同じジャンルの本なんだよ。テーマについて、
イメージをふくらませよう。

たとえば、「気候変動」に
ついてなら、「45」という
場所に「天気」コーナーが
あるよ

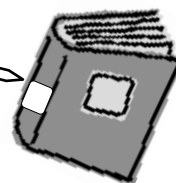
おとなの本を見てもいいね



450

ここが「背」

分類記号。
最初の2けた
から見てね

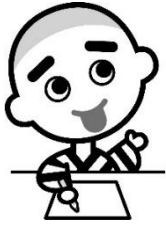


そのほかに、おなじ「45」の「地球」
「災害」や、「51」の「環境(かんきょう)」の
場所とか、「36」の「防災(ぼうさい)」も
チェック！

なつしら4：あつめた本を、ぜんぶみる

★本が集まったら、中を見るよ。パラパラとめくりながら、ここだ！と思ったところを、しっかり
読んでいこう。表紙だけじゃなにもわからないからね。本が出た年もチェック。古い本は、
今とちがっているところがあったりするから、調べるときはよく考えて！

なつしら5：図書館じゃないところで、調べよう



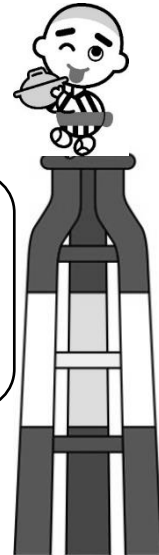
★博物館、四日市公害と環境未来館、くるべ古代歴史館、ばんこの里会館のような施設や、住んでいる地区にある市民センター、郷土資料館をたずねたり、現場に行ってみよう。本物やパンフレットなど、図書館にないものがあつたり、くわしい人がいたりするよ。

なつしら6：^{ちいき}地域のこと、四日市のことを調べるには

★ばんこ焼だったり、四日市公害だったり、四日市港だったり、四日市市のことを調べるときは、それぞれの関係のある施設が、インターネット上でくわしく紹介しているから、見てみよう。

図書館の2階にある、「地域資料室(ちいきしりょうしつ)」にある、四日市や三重県の本は、大人向けのものが多いよ。地域資料室の係の人に、「〇〇について調べにきました」と言ってね。

借りることができない本も多いから、おうちの人といっしょにきてね



なつしら7：まとめかたは、くふうして！

★絵や写真にコメントをつけていく、棒グラフや円グラフにしてみる、地図にしてみる、などの表現のくふうや、小道具を使う、さわれるようにしてみる、目立つタイトルをつける、文字や色を使い分ける、などの、演出のくふうも考えてみよう。

調べる、まとめるときの注意

- 1、本やインターネット、ほかの人が作った画像や文、AIの文を、丸うつししない。
- 2、本やインターネットの画像や文を少し借りるときは、それを変えないで使う。使う前に、それがほんとうに正しいかを、本などの、ちがうところでも調べる。
- 3、本やインターネットの画像や文を少し借りるときは、『参考』として、どこから借りたかを、まとめのさいごにかならず書く。
本であれば、『題名』『作者』『出版社』。インターネットであれば、『サイト名』『webページのタイトル』『著者名』『URL』。
(※いいかげんなサイトも多いから、参考にするときはよく考えて！)
- 4、図書館や書店の中で、スマホやタブレットなどで本の写真をとらない。
- 5、図書館や書店、お店や施設の様子を写真にとりたいときは、先にならずお店や施設の人にきいて、その決まりを守る。
- 6、お店や施設の人に話をききたいときは、かならず先に電話をして、いつ行くか約束をしてから行く。